同伴者向け

はじめて 九州国立博物館に 行く人のための

あんしんガイド



九州国立博物館に　行きます。
九州国立博物館は　「きゅーはく」とも　呼ばれています。

行く前に　これを　読めば　はじめて　きゅーはくに
行くときも　安心です。

このガイドは、主に発達障がいの方と同伴者をサポートするガイドです。
見通しを立てて、安心して来館していただくことを目的としています。

このオレンジの〔　　〕内に、同伴者向けの情報を記載しています。

光や音などに敏感な人のための「あんしんマップ」（P.24）も公開しています。

KYUSHU NATIONAL MUSEUM 九州国立博物館

太宰府天満宮から　行くには



トンネルの入口



トンネルの中

太宰府天満宮から　きゅーはくに　行くには
長い　トンネルを　通ります。

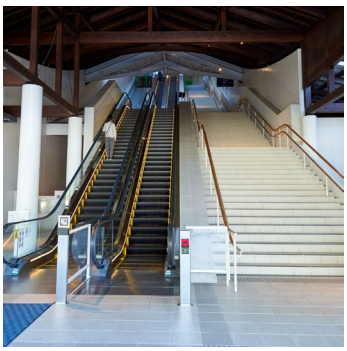
トンネルの　中は　暗いけど
いろんな　色の　光が　次から　次に　表れて
まるで　タイムスリップしているみたいです。

トンネルを　出ると　大きな　建物が　見えます。
九州国立博物館、きゅーはくです。

2

トンネルを入るとすぐ、エスカレーターと階段があります。

エレベーターは工事中です。
2025年1月頃から使えるようになります。
最新の情報はホームページをご覧ください。



一番上まで上ると、動く歩道があります。
歩いていくこともできます。

きゅーはくの　駐車場から　行くには



駐車場から　入口に　向かって　歩きます。

ガラスの　かべで　できた　大きな　建物が
九州国立博物館、きゅーはくです。

ガラスには　森が　映って　きれいです。

3

入口の近くには、身体障害者用駐車場、団体用バス駐車場があります。
ゲートで警備スタッフが案内します。タクシーの乗り降りもできます。
駐車料金：送迎のみ、30分以内は無料。
　　障害者手帳等を持ってきた人は無料。
　車　500円　マイクロバス　1,300円　大型バス　2,000円
※１回の利用で計算します。
※バスは、乗っている人の３分の１以上が障害者手帳等を持っている場合、駐車料金が無料になります。
支払い：現金のみ。お札は1,000円札のみ。１階の観覧券売場横にある事前精算機、または、ゲート。

駐車料金

かさを　あずけます





かさを　持(も)っていたら
博物館(はくぶつかん)に　入(はい)る前(まえ)に　かさ立(た)てに　入(い)れます。

かさを　入(い)れたら　かぎを　取(と)ります。
かぎは　なくさないようにします。

かさを　持(も)って　入(はい)ると
水(みず)や　かさの　先(さき)で　作品(さくひん)を　きずつけてしまうことが
あるからです。

かさ立ては、無料です。

杖やイヤーマフなどは、持って入ることができます。
補助犬も、一緒に入ることができます。

食べものや　ペットボトルは　カバンの中に　入れます



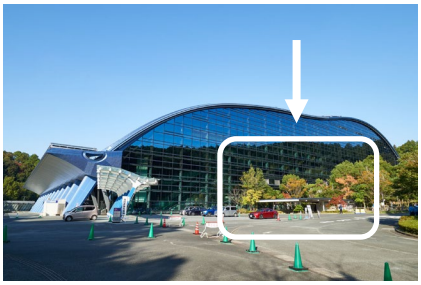
食べものや　飲みものは　虫の　大好物です。
虫は　大事な　作品も　食べてしまいます。

虫が　来ないように　食べものや　ペットボトルは
カバンの　中に　入れます。

5

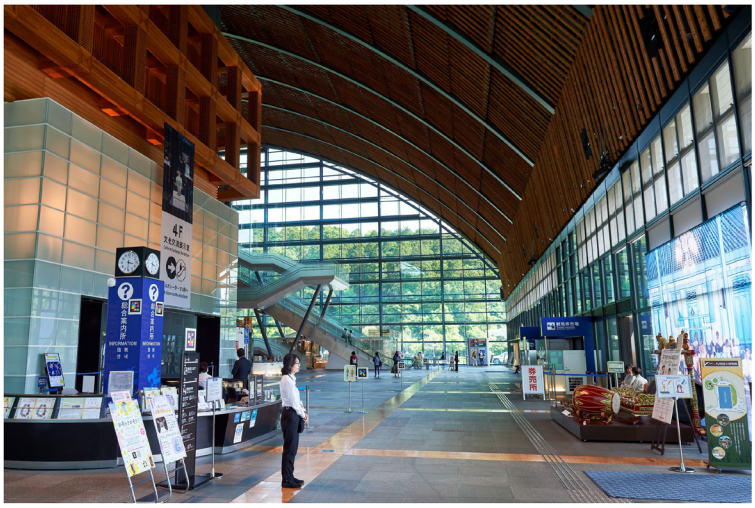
飲食は外にある椅子やベンチなどでできます。
館内で食べたい時は、研修室を使うことができます。（事前予約、有料）

博物館の外にあるレストハウスには、テーブルと椅子のほか、自動販売機、トイレ、オストメイト対応の多目的トイレ、補助犬トイレもあります。
詳しくはP.23を見てください。



外にあるレストハウス

きゅーはくの　中に　入ります



スタッフが　入口で　むかえてくれます。

中は　とても　広くて
天井も　とても　高いです。

人が　たくさん　いることも　あるので
いっしょに　来た人の　そばに　いると　安心です。

1階は無料のエリアです。（3階、4階の展示室の料金はP.11参照）
フリーWi-Fi「 Kyuhaku_Free_Wi-Fi 」が使えます。

Wi-Fi 利用方法

観覧券売場や、イベントなどをするミュージアムホール、
エントランスホールがあるため、混雑していることがあります。

閉館時に館内アナウンスがあります。通常は午後４時30分と午後５時です。
夜間開館中は、午後７時30分と午後８時です。呼び出しは行っていません。

カバンや　コートなどを　あずけます



コインロッカー



手荷物預かり所(クローク)

コインロッカーか　手荷物預かり所（クローク）に
荷物を　あずければ　軽くなって　動きやすいです。

コインロッカーは　100円玉を　入れて　かぎを　かけます。
手荷物預かり所（クローク）は　スタッフに　荷物を
あずけて　ふだを　もらいます。

帰るまで　かぎや　ふだを　なくさないようにします。

コインロッカーは、１階と３階にあります。ロッカーの数は１階が多いです。

使った100円玉は戻ってきます。

コインロッカーに入らない大きな荷物は、１階の手荷物預かり所（クローク）で預けてください。無料です。

わからないことは　スタッフに聞きます



スタッフ



ボランティアスタッフ



警備スタッフ

きゅーはくでは　いろんな　スタッフが　はたらいています。

受付や　展示室の中に　いる　スタッフ（青いストラップ）
案内をする　ボランティアスタッフ（黄色いストラップ）
警備スタッフ（ぼうしを　かぶっています）などです。

わからないことや　こまったことが　あったら
スタッフに　聞きます。
よろこんで　手伝ってくれます。

8

青いストラップのスタッフ（写真左）が館内に多くいます。
案内や誘導、展示室の監視などをしています。

ボランティアスタッフ（写真中央）は館内や展示室の案内などをしています。
手話ができるボランティアスタッフもいます。
必要なときは事前に連絡してください。
問い合わせ先 ：九州国立博物館　交流課
電話：092−929−3289

ボランティア

あじっぱで　遊(あそ)びます



あじっぱ



インドネシアの　ゲームで　遊(あそ)ぶ



韓国(かんこく)の　おちゃわんと　おはしで　遊(あそ)ぶ

あじっぱとは　「アジアの　はらっぱ」という　意味(いみ)です。

いろんな国(くに)の　おもちゃや　道具(どうぐ)で　遊(あそ)ぶことが　できます。
コマや　ゲーム、パズルなど　たくさん　あります。

入口(いりぐち)で　くつを　ぬいで　中(なか)に　入(はい)ります。

お金(かね)は　いりません。

9

おすすめ！

子どもも、大人も楽しめる体験型展示室です。
混雑していたり、楽器の音が大きかったりすることがあります。
混雑しているときは、入場を制限することもあります。

あじっぱの近くには、静かな休憩所があります。（P.18参照）
詳しい場所は「あんしんマップ」に載っています。

あじっぱ



紙の 帽子を 作る



竹で できた 楽器を 鳴らす



外国の 服を 着る

あじっぱでは　ぬりえや　工作も　できます。
スタッフに　聞くと　何が　できるか　教えてくれます。
作ったものは　思い出に　持って　帰ることが　できます。

竹や　金属で　できた　楽器を　鳴らすと　いろんな　音が
します。

他の人が　使っていたら　終わるまで　待ちます。
遊び終わったら　もとの　場所に　もどします。

「BOXキット」コーナーでぬりえや工作などを選びます。
常時１０種類以上あります。
民族衣装などの体験もできます。（時期によってできないこともあります）

展示を　見るために　チケットを
買います



作品を　ならべて　見せることを　「展示」と　言います。

展示を　見るためには　チケットを　買います。
たくさんの人が　ならんでいることが　あります。
その時は　列に　ならんで　待ちます。

チケットは　いらないときも　あるので
わからないときは　スタッフに　聞きます。

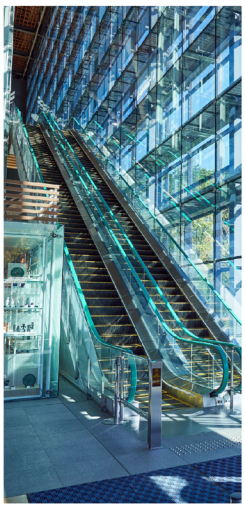
４階の文化交流展示室（平常展）は、高校生以下は無料です。
特別展の料金は展示によって変わります。

障害者手帳等＊を展示室の入り口で見せると
「本人１人と付き添い１人」の２人が無料になります。

観覧料

＊障害者手帳等とは：身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳、被爆者健康手帳、特定疾患医療受給者証、特定医療費（指定難病）受給者証、小児慢性疾病医療受給者証です。
障害者手帳アプリ「ミライロID」も使用できます。

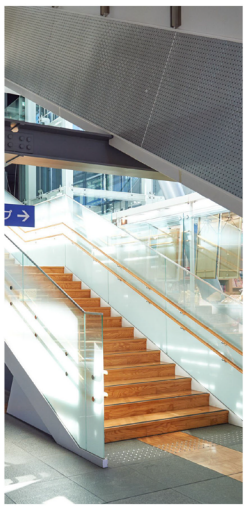
展示を　見るには　上の階に　行きます



エスカレーター



エレベーター



階段

上の階への　行き方は　３つ　あります。
長い　エスカレーター、スケスケの　エレベーター、
階段です。

特別展示室は　３階です。
いろいろな　テーマで　短い間だけ　展示をしています。

文化交流展示室は　４階、一番上の　階です。
今日は　ここに　行きます。

12

上の階に行くエスカレーターは２つあります。
スタッフが案内します。

３階の特別展開催中や団体がいるときは、混雑していることがあります。

文化交流展示室に　入ります



大昔、動物や　植物を　とって　生活をしていた　時代から
およそ　200年前の　江戸時代までに　使われていたものを
見ることが　できます。

高校生以下は　無料です。入り口で　スタッフに　年れいが
わかるものを　見せます。

展示室の　中は　暗いです。
光に　弱い　作品を　守るためです。

「年齢がわかるもの」は、保険証や障害者手帳等の身分証明書です。

一旦展示室の外に出るときはスタッフに言ってください。スタッフがチケットに再入場用のスタンプを押します。障害者手帳等で入場の方には再入場用の紙を渡します。

携帯電話はマナーモードに設定し、通話は展示室の外でお願いします。
出入口付近は、混雑していることがあります。

展示室では　ルールを　守ります



展示室では　走らずに　歩きます。

他の人や　作品に　ぶつかって

けがを　するかもしれないからです。



話すときは　大きな声ではなく

小さな声で　話します。



作品には　さわりません。

さわって　よごれたり　こわれたり　すると

みんなが　見ることが　できなくなるからです。



メモを　取るときは　えんぴつを　使います。

ペンの　インク、シャープペンの　しんで

作品を　きずつけてしまうことが　あるからです。



作品の　写真を　とることが　できます。



この　マークが　ある　作品は　とれません。

フラッシュは　使えません。



動画は　とれません。

展示を　見ます



外国に　行くための　船（遣唐使船）の　模型



お墓に　並べられていた　馬の　はにわ



外国の人に　人気だった　きれいな　つぼ

展示室は　とても　広いです。
展示室に　入って　右から　見ていくと
古い　時代から　見ることが　できます。

昔の人が　使っていた　道具や　お墓に　並べていたもの、
外国の人と　交流していたことが　わかるものが　あります。

いっしょに　来た人と　気になる　作品について　話したり
どこが　好きか　教えあったりします。

15

日本と、アジアやヨーロッパの交流の歴史を
大きく5つの時代（テーマ）に分けて展示しています。

展示している作品は、毎週少しずつ変わっています。

文化交流展示室

さわったり　においを　かいだり できます



「遣唐使が　運んだもの」という　部屋に　入ると
まるで　船の上に　いるような　感じがします。

日本から　唐（今の中国）に　運んだものと
唐から　日本に　持って帰ってきたものが
おいてあります。　本物　そっくりです。

お香や　スパイスを　さわったり
においを　かいだりすることが　できます。

16

第8室「遣唐使とシルクロード」にある部屋です。
7世紀から12世紀の作品を展示している3テーマに
あります。
他の展示室に比べて明るいです。

文化交流展示室

トイレに　行きたくなったら



トイレ



中が 広い 多目的トイレ

トイレに　行きたくなったら　近くの　トイレに　行きます。
まいごに　ならないように　いっしょに　来た人に　言うと
安心です。

トイレは　どの階にも　あります。
数が　多いのは　１階です。

車いすで　入ることが　できる
広いトイレ（多目的トイレ）も　あります。

17

多目的トイレは、車椅子の利用者、親子連れ、オストメイト、高齢者の方など多様な人が利用できるトイレです。
赤ちゃん用のおむつを替える台もあります。

オストメイトに対応していない多目的トイレもあります。
また、音声案内がある多目的トイレもあります。
詳しくは、「あんしんマップ」に載っています。

つかれたら　休(やす)みます



4階(かい)　展示室(てんじしつ)の　中(なか)にある　休(きゅう)けい所(じょ)



1階(かい)「あじっぱ」の　近(ちか)くの　いす

きゅーはくの　中(なか)には　いすが　たくさん　おいてあります。
つかれたら　いすに　すわって　休(やす)みます。

４階(かい)の　展示室(てんじしつ)の　中(なか)には
外(そと)の　景色(けしき)が　見(み)える　休(きゅう)けい所(じょ)も　あります。

１階(かい)に　ある　「あじっぱ」の　近(ちか)くには
人(ひと)が　あまり　通(とお)らない　静(しず)かな　場所(ばしょ)も　あります。

18

展示室の外にも、中にも椅子があります。

静かに休める場所は、「あんしんマップ」に載っています。

人がいない静かな部屋で休みたいときは、救護室を使うことができます。
使うときは、青いストラップのスタッフに言ってください。

のどが　かわいたら



1階と 3階に ある 冷水器



4階に ある 冷水器

冷水器が　ある　ところで　水を　飲みます。
冷水器は　どの階にも　あります。

コップは　１階と　３階の　冷水器の　横に　あります。
飲み終わったら　横に　ある　ゴミ箱に　すてます。

持ってきた　飲みものも　冷水器の　近くの　いすに
すわって　飲むことが　できます。

19

冷水器の場所は、「あんしんマップ」に載っています。
４階の冷水器は、展示室の中の休憩所にあります。

自動販売機は博物館の外にあります。
ただし、ペットボトルを館内に持って入る時はカバンなどに入れてください。

他にも　いろんな　場所が　あります



特別展



ミュージアムショップ



カフェ

短い　期間だけの　展示も　あります。
特別展と　いいます。

記念に　お土産などを　買いたいときは
ミュージアムショップに　行きます。

ごはんを　食べたり　お茶を　飲んだりすることが　できる
レストランや　カフェが　あります。
人が　たくさん　いることが　あります。

特別展の情報	開館時間 休館日
ミュージアム ショップ ＊お香のにおいがします。	レストラン・カフェ 営業時間やメニュー

たっぷり　楽(たの)しんだら　帰(かえ)ります



出入口(でいりぐち)

あずけておいた　カバンなどが　あれば　取(と)りに　行(い)きます。

コインロッカーでは　100円玉(えんだま)も　わすれずに　取(と)ります。

出入口(でいりぐち)から　外(そと)に　出(で)ます。

かさも　わすれずに　持(も)って　帰(かえ)ります。

また　きゅーはくに　来(く)るのが　楽(たの)しみです。

21

その他の施設　（同伴者向けにのみ記載）



救護室

気分が悪くなったり、静かな場所で休んだりしたいときには、救護室を使うことができます。

１階、３階、４階にあります。
使うときは、青いストラップのスタッフに言ってください。

※３階は特別展開催中のみ使うことができます。



授乳室

１階にあります。
女性は自由に使うことができます。

男性が使うときは、青いストラップのスタッフに言ってください。
女性が中で授乳していることがあるからです。



ボランティアカウンター

１階のあじっぱの前にあります。
ボランティアスタッフが博物館の施設や展示室を案内します。

詳しくはQRコードから。

ボランティア

問い合わせ先：九州国立博物館　交流課
電話：092−929−3289
FAX：092−929−3980



ミュージアムホール

１階にあります。
講演会やワークショップなどのイベントを
する広い部屋です。
イベントがないときは、閉まっています。

イベントがあるときは、混雑
していることがあります。

ミュージアムホール



研修室

１階に２つ部屋があります。
机と椅子の部屋、畳の部屋です。
使用していないときは、閉まっています。

講演会や休憩などに使うことが
できます。館内で食べたり、
飲んだりできる場所です。
使うときは、事前に予約して
ください。有料です。

研修室



レストハウス

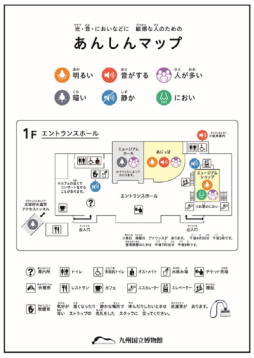
博物館の外にあります。
食べたり、飲んだりできる場所です。
テーブルと椅子があります。

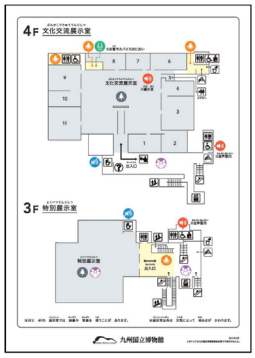
その他に自動販売機、トイレ、オストメイト
対応の多目的トイレ、補助犬トイレもあり
ます。

● あんしんマップ

暗(くら)いところや　音(おと)がする　ところなどが　書(か)いてある
「あんしんマップ」が　あります。

このガイドと　いっしょに　使(つか)うと　もっと　安心(あんしん)です。





あんしんマップ

● わからないことは…

わからないことが　あるときは、　九州国立博物館(きゅうしゅうこくりつはくぶつかん)に
連絡(れんらく)します。

九州国立博物館(きゅうしゅうこくりつはくぶつかん)

住所(じゅうしょ)　〒818 - 0118
福岡県太宰府市石坂4-7-2(ふくおかけんだざいふしいしざか)

電話(でんわ)（ハローダイヤル）　050-5542-8600

ホームページ　http://www.kyuhaku.jp

ホームページ

ご意見・ご感想は、ホームページから送ることができます。
皆様のご意見を参考に、よりわかりやすいガイドにしていきます。

九州国立博物館　あんしんガイド　同伴者向け
企画・編集：九州国立博物館　企画課　教育普及
発行：九州国立博物館
協力：福岡市立発達障がい者支援センター（ゆうゆうセンター）
発行日：初版 2024年6月20日、二版 2024年9月6日
このガイドは九州国立博物館賛助会費で作成されました。